

(写)

都営地下鉄大江戸線延伸の早期着工に関する要望書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

都営地下鉄大江戸線の延伸（光が丘～大泉学園町）は、首都圏の広域交通ネットワークを充実・強化するうえで欠くことのできない重要なプロジェクトであり、練馬区の北西部に残された他区では見られない鉄道空白地域を解消するものです。

延伸地域住民・区議会・区は、昭和 63 年に大江戸線延伸促進期成同盟を立ち上げ、国や東京都への要請活動や啓発活動など、延伸実現に向けた取組を行っています。加えて、昨年からは、同じく大江戸線延伸を望む区内経済・産業団体、町会等 8 つの団体と連携した大江戸線延伸推進会議を設立し、関係機関への要請等、早期実現に向けた取組を共に進めています。大江戸線延伸は、延伸地域の住民のみならず、区全域の多くの住民が切望するものとなっています。

本路線は、平成 27 年に東京都から整備について優先的に検討すべき 5 路線の一つに、平成 28 年には国から事業化に向けて検討などを進めるべきとされた 6 路線の一つにそれぞれ位置付けられ、東京都と区は連携して事業化に関する検討を進めています。また、東京都においては今年度、東京都鉄道新線建設等準備基金を創設し、進めるべきとされた 6 路線を中心として、事業化に向けた課題等の検討を進め、協議、調整を加速する方針を示しています。

国や東京都の計画の位置付けや鉄道新線整備に対する東京都の取組を受けて、事業着手に向けた地域の機運は日増しに高まっています。地域の思い、都区間で進めている事業化に関する検討、区が実施してきた沿線まちづくりの進捗等を踏まえ、早期着工に向けた以下の取組を要望いたします。

記

- 1 地形や地下埋設物などを考慮した駅やトンネルの構造の検討、延伸に必要な車両の留置施設の整備、収支採算性の確保など事業化に向けた課題の検討を早急に進めること。
- 2 収支採算性を精査したうえで、東京都鉄道新線建設等準備基金の活用も含めて、事業スキームを早急に取りまとめること。
- 3 大江戸線延伸の意義・必要性やまちづくりなどの取組の熟度を踏まえて、事業化の見通しを明らかにし、環境影響評価などの調査・手続きを早急に進めること。
- 4 都市計画道路補助 230 号線の用地取得を進め、大江戸線延伸に必要な導入空間を早期に確保すること。道路整備においては、大江戸線延伸を前提とした設計および工程調整に努めること。
- 5 鉄道施設に関する検討状況の情報提供など区が実施するまちづくりへの協力と必要な調整を行うこと。

平成 31 年 1 月 22 日

東京都知事 小池百合子様

大江戸線延伸推進会議

大江戸線延伸促進期成同盟	会長 (練馬区長)	前川	耀男
一般社団法人 練馬産業連合会	会長	横山	正二
東京商工会議所練馬支部	会長	高内	恒行
練馬区商店街連合会	会長	篠	利雄
公益社団法人 練馬東法人会	会長	秋山	勉
公益社団法人 練馬西法人会	会長	高橋	利充
東京あおば農業協同組合	代表理事組合長	榎本	高一
練馬区町会連合会	会長	加藤	政春
光が丘地区連合協議会	会長	高橋	司郎